

地肌が露出した八国見山での進入道路の工事現場（左側）。工事は6月末まで一時中止に—ネイチャーシネプロ・吉田嗣郎さん提供



来月末まで工事中止

園路
霊道
野入
兼進

ノスリ営巣、1羽がふ化

秦野市渋沢にある八国見山の大規模霊園開発計画地への進入道路の工事現場付近で、県レッドリストの絶滅危惧種・タカ科「ノスリ」の営巣が確認されたことを受け、事業者「相模メモリアルパーク」（愛川町）が市の要請で6月末まで道路建設工事を一時中止するこ

とが分かった。巣では少なくともヒナ1羽がふ化しており、専門家の意見を基に、

進入道路の重機の通行

を一部制限するとい

う。

ノスリの営巣地は県内では数カ所とされる。同会は貴重な営巣地を保護するため、国の猛禽類保護指針に沿って「ヒナが親鳥から

離れて独立するまでの約4カ月間」を工事中止期間とするよう要請していた。今回の事業者の対応について、同会のメンバーは「一歩前進との評価はできる。引き続き工事中止期間の延長とエサ取り場の保全を求めていきたい」としている。

【高橋和夫】